



蒲都市観光ビジョン委員会では、

基本的な方向性（広報がまごおり平成16年7月1日号掲載）のもとで検討を重ねてまいりました。そして、今回、観光ビジョンで提案された、主要事業のいくつかをご紹介します。

事業その1

蒲都市民への観光交流魅力発信事業

蒲都市民が、蒲郡の観光を知り、「誇り」として認識できるように、市民を対象にした観光施設の市民開放デーを作ったり、観光情報を提供すること。

事業その2

オール蒲郡による観光交流魅力創造事業

いろいろな産業をミックスした「まちの総合力」をいかし、さまざま

まな地域観光資源を見直す。また、

お祭りや伝統芸能など、地域に隠れた観光資源を発掘して、蒲郡の新たな魅力を紹介すること。観光振興のために、各種活動・各種団体を支援すること。（企画提案型とし、優秀作の事業を支援）

市民、産業、行政などの組織間のつながりを支援すること。

事業その3

「観光交流立市」宣言による新たな観光イメージ創出・PR事業

新しいキャッチフレーズ、ロゴ、キャラクターなどを作り、観光蒲郡のイメージアップを図ること。マスメディア、著名人などだけでなく、市民や訪問者からも情報発信できるPR方法を作ること。PRの企画立案、継続的なPRやネットワークづくりのための専門員を配置すること。

事業その4

マーケティング活動に資する各種マーケティング調査事業

観光スポットや宿泊施設でアンケート調査を行い、観光客のニーズを把握すること。

観光産業がどのように地域経済に効果を与えるかを調査すること。

来訪者、バスガイド、旅行添乗員などへのアンケートを行い、行動や満足度を調査すること。

事業その5

有望マーケットへの誘客推進事業及び広域連携推進事業

愛・地球博来場者、セントレア（中部国際空港）利用者の蒲郡への誘客計画を作ること。

海なし県、団塊世代、中高年女性層、名古屋圏の若者層、道路整備により広がる日帰り圏などへの誘客に努めること。

他の観光地と広い地域で連携を取り合い、蒲郡の宣伝をすること。

事業その6

誰もが心地よい快適な観光交流都市育て事業

来訪者をお迎える観光業関係者・市民のおもてなし意識の向上を図るために、啓発活動を実施すること。

お迎えできるしつらえ（観光施設交通機関、観光環境）を点検し、サービス面、ハード面、デザイン面などを見直すこと。



「蒲都市観光ビジョン」は作成されましたが、観光交流都市蒲郡としての本当の始まりは、まだまだこれからです。今後、具体的な事業を実施していく中で、もっともっと広がっていくのです。

ここではその一部しかご紹介できませんでしたが、この全文を蒲郡市のホームページ（<http://www.kankou.city.gamagori.aichi.jp/navi/bijon/>）または、商工観光課でご覧いただけます。皆さんの「意見・ご感想をお待ちしています」。

〒443 8601 蒲都市役所商工観光課観光ビジョン担当
 Fax 66 1188 E-mail kankou@city.gamagori.lg.jp